

コロナ支援・確定申告
何でも相談窓口

☎0120-22-0000 (平日午前10時
～午後4時)
京商連事務局が対応し、各民商に相談をつなぎます

京商連News

発行 京都府商工団体連合会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入
函谷鉦町78番地
京都経済センター4階409

電話 075(353)3551 FAX 075(353)3552
http://www.kyoshoren.gr.jp/
E-mail: info@kyoshoren.gr.jp

1部10円(購読料は民商会費に含まれています)

かじかわ知事 中小業者の期待高まる!



写真上: 個タク古井理事と
写真左: 伏見民商吉江会長
激励



京都府知事選挙(3月24日告示・4月10日投開票)に、京都総評議長かじかわ憲氏が立候補、現職と激しく争っています。京商連は常任理事会でかじかわ憲候補の推薦を決定。「コロナ禍とロシアによるウクライナ侵略の下で、中小業者のいのちと営業・暮らしがなかった選挙。何としても勝利を」と全力をあげています。全商連はじめ全国支援も広がっています。

全商連 太田会長激励に

3月23日全商連太田義郎会長が府知事選挙支援に来京され、午後1時から京商連久保田憲一会長と一緒に中京、南、西京、伏見、八幡民商会長の仕事を直接訪問して「府知事選挙に全民商会員の力を結集して何としても勝利してほしい」と訴えました。

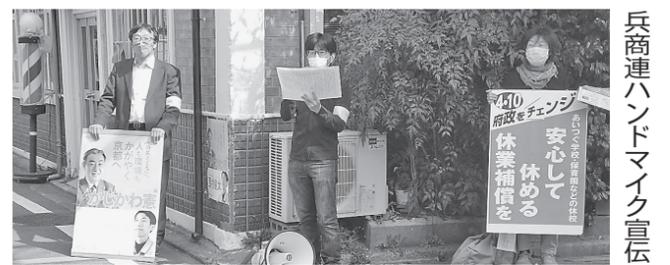
南民商木下哲男会長は「全商連の会長さんにはわざわざ来ていただいたり恐縮です」と仕事の手を止めて対応。「見ていただいた通り伝統産業に携わっていますが、コロナで仕事も減少して大変な状況でも今の知事さんでは何の支援もない。中小業者への直接支援を訴えるかじかわさんに本当に知事になってほしい」と期待を語りました。

伏見民商吉江達郎会長は「伏見区は大栗田。民商は中小業者の声を集めて府政を変えたい」とエールを交換しました。城陽久御山民商は、知事選挙勝利のために定例機関会議の日程を前倒しにして緊急に常任理事会を開催、13人が集まりました。太田会長は会議の場で「政治の仕事は国民のいのちと財産を守ること。コロナとロシアのウクライナ侵略の下でこのことがハッキリしていることをハッキリしてしま

す。9条改憲や核共有まで自民党や維新は主張しているが、二度と侵略戦争はしない、被爆者を生み出さないという日本国憲法の理念こそが今の時代に必要です。平和と中小業者の営業支援を掲げる、かじかわ憲さんをぜひ知事に押し上げてほしい。京都からこの閉塞した日本の政治を変えてほしい」と熱く訴え、参加者は大きな拍手で応えました。

他県から 支援続々と

「何としても京都で知事選挙に勝ってほしい。重税反対統一行動直後の3月12日、兵庫県連から那須由美子事務局長を先頭に事務局5人が第一陣の支援に入りました。一行は京商連久保田会長を弁士に宣伝カー連行とブラスターハンドマイク宣伝に奮闘。この行動を皮切りに、大阪や滋賀からも県連会長を先頭に、役員・会員・婦人部員・事務局などと統々と支援に入り、各地の民商でハンドマイク宣伝、会内外の業者への電話対話、集会参加など様々な活動に力を入れて取り組んでいます。支援者は3月24日時点で4月9日までに100人を超える予定にのぼっています。21日に箕面・住之江民商から7人の支援を迎えています。



兵商連ハンドマイク宣伝

憲ちゃんファイバーを 婦人部で

京婦協決起集会



3月20日、京婦協は「春くよ来い!憲ちゃんファイバー京婦協決起集会」を開催、40人が参加しました。登壇したかじかわ憲さんは新名神へのアウトレット出店を例に「アウトレ

ットでは地元産品お断り。私は地元産品を販売して地元にお金を回す仕事こそ知事としてやりたい」と熱弁をふるいました。リレートークには5人の婦人部員が登壇して「所得税法56条廃止を知事として訴えてほしい」「北陸新幹線延伸はストップ」など訴えました。集会後、18人が四条烏丸でプラスタ

中小業者の生業おうえん

かじかわビジョン2022

かじかわ憲候補は、府民の声と力を集めた政策大綱を発表。中小業者支援策を紹介します。

① コロナ禍で影響を受ける 生業を直接支援

現府政は国言いでコロナ禍で苦しむ業者への府独自支援はほとんどなし。昨年6月に全会一致で府議会で採択された「コロナ禍で影響を受ける中小企業への緊急支援策を求める意見書」を実現するとして、コロナに苦しむ業者への府独自の直接支援策を行うことを公約しています。

② 生業徹底支援! インボイス中止キッパリ

どこでも普通に働き普通に暮らせるために、京都経済の主役である中小・零細事業所の生業を徹底支援、所得を引き上げ地域で循環する経済を公約。地域経済に大打撃となる消費税は5%に減税、インボイス中止の声を地方から国にあげるとキッパリ主張しています。全国で唯一実現していない「中小企業・地域振興条例」制定も掲げています。

③ 命を守る! 保健所を元に戻す。 ロシアはウクライナから直ちに撤退 憲法の精神で平和を発信!

地域で生きる

『お客さんの時間に寄り添います』

宇治民商 藪内 誠さん(46)



パンデュール

〈住所〉宇治市小倉町南浦30-30
 〈営業時間〉7:00~18:00
 〈休日〉火曜
 〈電話番号・FAX〉0774-84-9981
 〈Instagram〉
https://www.instagram.com/pandule_bakery/

「限られた時間の中でめぐり逢えたことに感謝」笑顔でこう話すのは、宇治市小倉町でパン屋「パンデュール」を営む藪内誠さん。店名【パンデュール】とは、フランス語で「時計」という意味。時計は一秒一秒と時間を刻む。でも、時間は止まってはくれない。限られた時間の中で、一秒一秒を大切に、お客さん一人ひとりとめぐり逢えたことに感謝。そんな思いで名づけた名前。

「僕は『時』という言葉が好き。店名は、人にとっては限られた時の中で必死に生きることも含んだ名前。」

めぐり逢いが原点

パンデュールは、19年12月にオープン。もともと親がお店を営む「偶然のめぐり逢い」



▲棚には美味しいパンがギッシリ

笑顔を引き出す地域密着型パン作り

パン屋の朝は早い。

▲宣伝チラシです

「人に誘われてパン屋で働いた時、二人のパン作りの師匠に出会います。」

「偶然のめぐり逢いが今の原点」だと、藪内さんは話します。「人との出会い、めぐり逢って、今の僕があるように、みんな人のめぐり逢いによって色んな経験をして、それが人生になっていく。パンデュールは時計のように、めぐり逢えたお客さんの日常に寄り添える、そんな店をめざしています。」

70〜80種類あるパンはすべてオリジナル。体に良いパンを作ることを基本に、一つひとつ丁寧に作ります。

藪内さんのモットーは「地域密着」です。

一人暮らしのお年寄りや子どもたち…地域で生きる人たちが気軽に足を運べる、地域に根差したパン屋さんをめざしています。

去年から原材料等の高騰で頭が痛い日々、大変なことも多いですが、やりがいはいっぱい「お客さんの嬉しい顔」です。お客さんの顔を見ることが何よりも生きがい。一回来店されたお客さんが再び来店する「元気が出ます。」

「たまたまた来店した子どもたちがパンを見て、「全部美味しそう！」と声を上げた時、「その言葉が何よりも嬉しい！」と藪内さんは笑いました。手暇かけて作った自分のパンがお客さんのもとに旅立つ…その瞬間が一番好き、やり切った瞬間。」

今後については、めちゃくちゃお店を大きくするつもりはありませんが、潰れずに人を雇えるぐらいには大きくしたい思いがあります。

でも、今は売れ残りが出ないように、毎日必死に売り切ることです。

ロシアは直ちにウクライナ侵略やめろ

平和でこそ商売繁盛



3・13デモで「戦争反対」

ロシアによるウクライナ侵略に対して、明らかに国連憲章違反であるとして国連総会は未曾有の141カ国の賛成でロシア非難決議をあげました。ウクライナ国連大使も「国連は生きている」と国際政治のリアルパワーに感嘆しています。

同時に日本国内では、自民党や維新による「国連は無効だ」「9条では国は守れない」「日本の防衛力と日米同盟の強化を」「核共有を」など軍備拡張と核武装を求める極端な主張も行われています。

しかし、国際世論と合わせてロシアへの経済制裁、ロシア国内で抑えきれない反戦の声などロシアこそ追い詰められているというのが現状です。

今こそ平和の声を

3・13行動で「戦争反対」

ロシア軍によるウクライナ侵略は、病院・学校・保育園・避難施設など民間人を標的にした無差別攻撃を強め、多くの住民が犠牲となり住居を追われています。国連難民高等弁務官事務所によると20日時点で国内外の避難民は1000万人を突破。国外への難民は一日当たり約10万人増え、第2次世界大戦以降、最大の難民危機が広がっています。人道危機に対して上京民商ではウクライナ支援の募金の取り組みを始めました。

核兵器禁止改憲ノ一の署名運動を

南民商婦人部は毎月の核兵器禁止署名行動に取り組んでいます。ロシアによるウクライナ侵略での核兵器使用の威嚇の下で、「3月の行動では署名に取り組んでいたら脚立を持った職人さんがどんと脚立を置いてわざわざ署名をしてくれた」と報告してくれました。

戦後の世界では「戦争の違法化と紛争の平和的解決」「核兵器の非人道性から核兵器禁止へ」の流れこそが世界の大道であり、その最も先駆的な具体化が憲法9条であることを学びあい、確信を

2つの総会を成功へ

仲間を増やして総会迎えよう

京商連第61回定期総会

日時：6月5日(日)午後予定
 場所：京都経済センター6階
 とオンライン併用予定

全商連第55回定期総会

日時：5月22日(日)
 午前9時30分~午後4時
 場所：京都経済センター4B
 (京都ウェブ会場)

行事あない

- 4月5日(火) 常駐常任理事局長会議
- 4月10日(日) 京都府知事選挙投票日
- 4月12日(火) 共済会理事会
- 4月13日(水) 京青協三役・理事会
- 4月19日(火) 第11回事務局長会議
- 4月21日(木) 京婦協常任理事会
- 4月24日(日) 共済会パスツアー
- 4月25日(月) 第3回理事会
- 4月26日(火) (協)第6回理事会

をもってロシアによるウクライナ侵略反対の運動と「改憲ノ一」の署名運動を推進しましょう。「核兵器の使用による新たな被爆者を絶対に生み出さない」という核兵器禁止の原点に立って世論と核兵器禁止署名を広げる運動に取り組みましょう。